

高等部 Dスタディ（生活単元学習）月グループ 学習指導案

日 時：令和6年1月27日（土）9：20～10：10
 場 所：高等部1年生教室
 指導者：佐藤美里（T1） 高橋浩樹（T2）

1 単元名 Dスタチャレンジャーズ
 ～ファッションを楽しもう「わかはとチャレンジャーズコレクション」開催～

2 単元目標

- (1) 目的に応じた服装、流行りや個性を生かした服装が分かり、衣服を整えて着用する。（知・技）
- (2) 調べ学習や話し合い活動から、相手を意識した服装と個性を生かした服装を考え、伝え合う。（思・判・表）
- (3) なりたい自分をイメージし、主体的に衣服を選んだり情報を集めたりする。（学・人）

3 生徒と単元

(1) 生徒について

自分の考えを分かりやすく伝えることや、相手との適切な関わりなど、特に慣れない相手とのコミュニケーションに課題意識のある生徒が多い。友達同士では、「休日に一緒に遊びたい」という思いから、共通の楽しみを見付け、学校外でも関わろうとすることが増えてきた。（人とつながる）

主にタブレット端末を利用して情報を集めている。キーワードを絞って検索したり、公式ホームページを見たりすることを学んできた。また、公共の施設を利用する際に電話を掛けたり、身近な人に聞いたりする経験もしてきた。（情報を集める）

慣れないことへの不安や失敗への抵抗感があり、自分から新しいことに挑戦することは少ないが、好きなことや経験のあることは、家庭や地域でも取り組もうとする生徒が多い。身近な人と経験を重ねることで自信をもち、自分でも「やってみよう」と行動したり、「次はこうしよう」と課題意識をもって行動したりすることが増えてきた。（試す）

これまでテーマとして取り上げた「料理」と「旅行」は、「私の応援計画（生徒用）」に記入している生徒が多く、以前から興味・関心のある内容であった。本単元のテーマである「ファッション」は、年度初めのテーマ決めで、生徒同士の話し合いから新たに挙げられた分野であり、友達との会話から興味・関心の広がりも見られる。（自分を知る）

わかはとモデル～「生涯学習力」を見取る視点～			<参考>
人とつながる	なかまといっしょに	人とつながりをもとう・広げようとしている	人とつながりを広げよう・深めようとしている
情報を集める	見てみよう・聞いてみようとしている	見て聞いて調べようとしている	経験を生かそうとしている
試す	やってみようとしている	考えて試してみようとしている	挑戦し続けようとしている
自分を知る	好きなことを知ろうとしている	いろいろな自分を知ろうとしている	なりたい自分を知ろうとしている
「生涯学習力」を広げたり深めたりするための基盤 【好奇心】【興味・関心】【夢中】			

(2) 単元設定理由

本単元は「ファッション」をテーマとし、その中で「衣服の選択」を中心とした学習を行う。私服を着る機会が増えたことや、社会人になると制服がなくなることから、「流行を知りたい」、「似合う服を知りたい」とファッションに興味・関心をもち始めた生徒が多い。一方で、「着る服は何でもよい」と自分の服装にあまり関心のない生徒もいる。そこで、衣服は暮らしに必要なものであり、健康や安全に暮らすための役割も果たすことを知り、目的に応じた衣服を選べるようになってほしいと考えた。

また、本学習グループの生徒は、自分の考えを伝えたり、自分から他者に関わったりすることなど、コミュニケーションを課題とする生徒が多い。どんな衣服をどのように着るのかで、相手に与える印

象が変わることを知り、相手を意識して身だしなみを整えたり、衣服を選んだりすることの必要性に気付いてほしいと考える。さらに、自分の服装を他者に認めてもらう経験を重ねることで自信をもち、家庭でも自分の服装を考えるきっかけになればと考える。

そして「ファッションといえばショー」、「ランウェイを歩きたい」という生徒の思いから、学習のまとめに「ファッションショー」を取り入れる。グループの友達と衣服を選ぶ経験を重ねることで自分の好みや似合う服装に気付き、「ファッション」を楽しんでほしいと考え、本単元を設定した。

(3) 指導について

- ・主体的に衣服の選択ができるように、生徒の生活を想定した場面を設定する。
- ・学習に見通しをもって取り組むことができるよう、小単元を「私服のコーディネート、アンケートやインタビュー調査、雑誌やアプリを活用した情報収集、グループ検討と再コーディネート」の流れに統一する。
- ・「グループ検討と再コーディネート」では、選択の幅が広がるように、タブレット端末（バーチャル試着体験）と、実際に試着できる衣服を何点か準備する。
- ・ファッションを身近に感じたり、気軽に調べたりすることができるよう、各自のタブレット端末にファッションアプリをダウンロードする。
- ・選んだ理由を説明することができるよう、コーディネートのポイント（色・柄、素材、形、サイズ、着方等）を表にし、増やしていく。
- ・衣服の手入れや購入（価格、手持ちの衣服との組合せ等）についても考えることができるように、家庭と連携しながら、場면을捉えて指導する。

4 単元計画（総時間数 22 時間）

学習活動	主なねらい
(1) ファッションって何だろう（3時間） ・イメージマップを作成する。 ・衣服の役割を考える。 ・自分の目標を立てる。	・健康や安全面から、自分を「守る」着方と、コミュニケーション面から自分を「伝える」着方があることを知る。（知・技） ・「ファッション」について課題意識をもち、調べる方法や解決方法を考える。（学・人）
(2) 基本を学ぼう（5時間） ・卒業後を想定し、通勤着をコーディネートする。 ・学校職員と専門家にアンケートを行う。 ・専門家から通勤着の選び方を学ぶ。	・清潔感が相手に与える印象を知り、身だしなみを整えて衣服を着用する。（知・技） ・フォーマルとカジュアルの違いが分かり、通勤着に相応しい服装を考える。（思・判・表） ・自分の卒業後をイメージして、通勤着に相応しい衣服を選ぼうとする。（学・人）
(3) おしゃれに見せよう （7時間 本時6/7） ・休日に友達と遊びに行く場面を想定し、服装をコーディネートする。 ・流行りのファッションやコーディネートのポイントを専門家(ユニクロ茨島店店長)に聞く。	・アンケートやインタビューを行い、流行や相性のよい色の組合せを知る。（知・技） ・おしゃれに見える服装を考える。（思・判・表） ・自分からファッションに関する情報を集めようとする。（学・人）
(4) 似合う服を見つけよう（3時間） ・ファッション誌やタブレット端末を活用して情報収集を行い、自分の好きな服装を見付ける。 ・校外学習でGUパブリ八橋店に行き、試着をして似合う服を見付ける。	・タブレット端末を活用して様々な服装の画像を集め、好きな服装をまねる。（知・技） ・友達の服装に具体的な感想や提案を述べながら、似合う服装を考える。（思・判・表） ・自分の好みと他者の評価を取り入れながら、服を選ぼうとする。（学・人）
(5) わかはとチャレンジャーズコレクション開催（4時間） ・コーディネートのポイントを取り入れながらショーの脚本を作る。 ・ショーの練習と開催をする。	・テーマに合わせた衣服を適切に着用する。（知・技） ・披露する服装のコーディネートポイントが分かり、説明する。（思・判・表） ・学習を振り返り、なりたい自分に近づくことができたか、自己評価をする。（学・人）

5 生徒の実態と目指す姿

生徒	実 態	単元を通して目指す姿
A 1年 男	<p>① 一方的に話をすることがあるが、人との関わりを好む。</p> <p>② 経験から保健衛生上や生活の中での衣服の働きが分かる。</p> <p>③ 相手を意識して衣服を選ぶことへの関心は低いが、必要性を感じることで友達と一緒に取り組もうとする。</p> <p>④ 新しい挑戦や自発的な興味・関心の広がりはない。</p>	<p>・衣服を選ぶ際のポイントが分かり、友達の服装の良いところに気付き、伝える。</p> <p style="text-align: right;">①②</p>
B 2年 男	<p>① 身近な友達とのやりとりを楽しむ。学習場面では、意見を求められると自分の考えを話す。</p> <p>② 身近な人に聞いて情報を集めようとする。</p> <p>③ 自信のないことには消極的であるが、友達と一緒にあれば取り組もうとする。購入する衣服は母が選んでいる。</p> <p>④ 自分の服装に自信がなく消極的な言動もあるが、自分から服装に関する話をすることが増えた。</p>	<p>・情報収集や試着を行い、自分で良いと思う服装を見付ける。</p> <p style="text-align: right;">②③④</p>
C 2年 女	<p>① 思いを言葉にするのに時間を要するが、自分の考えを伝えたり、相手の話を聞いたりしながら適切に関わることができる。</p> <p>② 休日に先輩や友達の私服を見る機会がある。衣服の購入や選択は母に相談している。</p> <p>③ 周囲に認められることで自信をもって挑戦し続けようとする。</p> <p>④ 流行や自分に似合う服装が知りたいと話している。</p>	<p>・衣服を選ぶ際のポイントが分かり、様々な衣服を試しながら、自分に似合う服装を見付ける。</p> <p style="text-align: right;">②③④</p>
D 3年 女	<p>① 自分の意見に固執することもあるが、相手の意見や提案を受け入れながら関わるようになってきた。</p> <p>② ファッション誌を購入することがある。両親に相談して衣服を購入している。</p> <p>③ 困り感なく、好きな衣服を選んで着ている。</p> <p>④ 好きなことから興味・関心を広げ、やりたいことや、なりたい自分をイメージする。</p>	<p>・他者の提案を取り入れながら、より良い服装を考える。</p> <p style="text-align: right;">①②③</p>
E 3年 男	<p>① 友達と一緒に活動することを好み、何でも挑戦しようとする。</p> <p>② 経験を通して覚えたことを生活に生かそうとする。</p> <p>③ 学習したことを他の場面でも試そうとする。自分で衣服を選んだ経験は少ない。</p> <p>④ 「すてきな服、着やすい服を着たい」という思いがある。</p>	<p>・どんな着方をするかで相手に与える印象が変わることが分かり、適切に着用する。</p> <p style="text-align: right;">①②③④</p>
F 3年 男	<p>① 自信のなさから、慣れない相手とのやりとりは緊張するが、身近な教師や友達には自分から関わり、会話を楽しむ。</p> <p>② アニメやwebサイトでファッションに関する情報を得ている。</p> <p>③ 色の組み合わせに悩みながら衣服を選んでいる。母と一緒に購入する衣服を選んでいる。</p> <p>④ 相手を意識し、良く見られる服装をしたいという思いがある。</p>	<p>・他者の提案と自分の考えを調整しながら、よりよい服装を考える。</p> <p style="text-align: right;">①②③</p>

6 本時の計画

(1) 本時のねらい

- ・アンケート結果を見たり、友達の意見を聞いたりして、おしゃれに見せるための服装を選ぶ。
- ・流行の色や素材、形が分かり、気付いたことや考えたことを友達に伝える。

(2) 学習過程

時間	学習活動	教師の働き掛け・留意点
5分	1 本時の学習内容を知る。 ※生徒は私服を着て学習を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <めあて> おしゃれに“魅せる”ための ポイントを伝えよう </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動に見通しをもてるよう、学習内容と流れを説明する。 ・アンケートやインタビューから分かったことと、本時の設定場面が「休日、駅前で友達と遊ぶとき」であることを確認し、前時までの振り返りをする。 ※本単元において「おしゃれとは、流行、もしくは評判のよい服装」と捉える。
35分	2 グループに分かれておしゃれに“魅せる”ための服装を考える。 グループ1：A、B、C（対象B） グループ2：D、E、F（対象F） <ol style="list-style-type: none"> ① 対象生徒が、バーチャル試着で考えた2つの服装の写真を紹介する。 ② 写真を見比べて感じたことや考えたことを伝え合う。 ③ おしゃれに見える方の写真を選ぶ。 ④ ③で選んだ写真を基に、試着コーナーで服を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いで自分の考えを伝えることができるように、対象生徒が考えた2つの写真について、コーディネートポイント（色、素材、形の観点）を基に個人で考える時間を事前に設定する。 ・生徒が自分の服装に自信をもてるように、友達に意見する際は、否定ではなく提案の話型で話すことを約束する。 ・専門家からのアドバイス等を生かすことができるように、アンケートとインタビュー結果を反映したコーディネートポイント表を提示する。 ・友達の意見を聞いて考えることができるように、話し合い中の生徒の意見を付箋紙に記入し、可視化する。 ・写真と似た色や形の服を実際に見ることができるように、試着コーナー（服屋を模した場）を設置する。 ・手持ちの服との組合せを考えることができるように、言葉掛けをする。

ホワイトボード

テレビ

E (情)
おしゃれに見える理由を考える姿

A (人 情)
自分の意見を友達に伝える姿

E

D

C

A

F (試 自)
よいと思う方を選ぶ姿

F

B (試 自)
友達の意見を聞いて選ぶ姿

B

D (人 情)
話し合いで友達の意見を聞く姿

C (人 情)
おしゃれに見える理由を話す姿

試着用衣服
(試着室として高2教室と教材室を使用する)

T2

	<p>グループ1</p> <p>A：●Bが考えた2つの服装について感じた肯定的な感想と、コーディネートポイントに基づいた改善案を伝える。 →提案や称賛の話型で話すことができるように、必要に応じて言葉掛けをする。</p> <p>B：●コーディネートポイントに基づいた友達の意見と自分の目標「大人に見える服を選ぶこと」を踏まえて、写真を一つ選ぶ。 →悩んでいる際には、「大人っぽい色はどちらか」などと問い掛ける。</p> <p>C：●コーディネートポイントを思い出し、色や形など具体的な表現を用いて、おしゃれに見える理由を伝える。 →理由を説明できずにいる場合は、コーディネートポイントの表を見るように言葉掛けをする。</p>	
	<p>グループ2</p> <p>D：●友達の意見を聞きながら、Fがおしゃれに見える服装を考える。 →友達の意見を意識できるように、先に友達の意見を聞くような場面を設定したり、「○○さんはどう思っているかな」などと声を掛けたりする。</p> <p>E：●おしゃれに見える部分を指差したり、理由を話したりする。 →理由を話せるように、一緒にコーディネートポイントの表を見ながら、当てはまる理由を探す。</p> <p>F：●コーディネートポイントに基づいた友達の意見と自分の目標「まじめで優しい、いい男に見える服を探すこと」を踏まえて写真を選び、理由を話す。 →よいと思った理由を具体的に表現できるように、選んだ写真を見ながら「色は～、形は～」といと話す場面を設ける。</p>	
10分	3 各グループで選んだ服装を紹介し合い、本時を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 対象生徒の服装（試着コーナーで選んだ服装）について、選んだ理由を話すことができるように、色、素材、形のどのポイントから考えたかを問う。 悩んでいる場合は、考えを言葉にすることができるように、付箋紙（話し合い中の生徒の言葉）を指差す。

<p>■ 本時の予想される児童・生徒の姿（評価の視点）</p> <p>● 個別のねらい</p> <p>→ 手立て</p>
--

7 評価

（生徒）

- アンケート結果や話し合いで出された意見を生かし、衣服を選ぶことができたか。
- 友達が選んだ衣服のよさに気付いたり、自分の考えを伝えたりすることができたか。

（教師）

- 生徒がおしゃれに見せるためのポイントを押さえ、衣服を選ぶための手立ては適切だったか。
- 生徒が自分の考えを述べたり、よりよい服装を考えたりするための場の設定や言葉掛けは適切だったか。

つながりミーティングⅡ

事例対象の生徒を設定し、小中高のつながりの視点で生涯学習力について確認・検討。

Check



エピソードの見取り（考察）から

次単元の授業づくりに向けて

- ① 人 ・ 友達の意見を聞き、自分の考えに自信をもったり新しい視点で考えたりする。
- ② 情 ・ 困ったときに相談したり解決策を調べたりする。
- ③ 興 ・ 友達や専門家の意見を聞いて、新しいことに興味をもつ。

Plan

Dスタディ月グループ

～旅行を楽しもう②～

Do



Action

① 人情 ③ 興 を膨らませる仕掛け

- ・ 意見を出し合い、校外学習を立案
- ・ 外出に必要な情報の収集
- ・ 友達が出掛けたい場所を知る機会の設定

つながりミーティングⅢ

事例対象の生徒について、小中高のつながりの視点で生涯学習力について再確認・再検討。

Check



エピソードの見取り（考察）から

次単元の授業づくりに向けて

- ① 人 ・ 友達の意見を聞き、自分の考えに自信をもったり新しい視点で考えたりする。
- ② 情 ・ 困ったときに相談したり解決策を調べたりする。
- ③ 興 ・ 友達や専門家の意見を聞いて、新しいことに興味をもつ。

Plan

Dスタディ月グループ

～ファッションを楽しもう～

Do



Action

① 人 ② 試 ③ 興 を膨らませる仕掛け

- ・ 友達と意見を出し合いショーを開催する
- ・ 専門家から流行やTPOに応じた服について学ぶ機会の設定
- ・ 様々な衣服に触れる場の設定

つながりミーティングⅣ

年間の振り返りと生徒の変容の分析。
次年度に向けた方向性の検討。

Check



- ① 自 ・ 好きなことややりたいことを選ぶ力を付けるためには、自己決定、自己選択する機会を重ねることが必要。年齢が上がるにつれて、「周りの人からどう見えるか」という他者意識も育むことが大切なのではないか。
- ② 試

Assessment

「Dスタディ月グループ」年間単元計画と他教科等の関連

オリエンテーション～テーマを決めよう～

<ねらい>

- ・自分の挑戦してみたいことに気付く。(思・判・表)
- ・友達と話し合い、Dスタディで取り組む内容を決める。(学・人)

<学習内容>

イメージマップを作成し、今年度Dスタディで学びたい内容を考えたり友達に伝えたりして、学習内容を決める。

国語 高1段階
Aイ、オ
Cエ

～料理を楽しもう～

<ねらい>

- ・自分で作れる料理のレシピをインターネットで検索し、見つける。(知・技)
- ・レシピを見て、調理に必要な材料や道具が分かり、準備をする。(思・判・表)
- ・料理をする際に大事なことに気づき、ポイントを絞ってkeynoteでまとめる。(学・人)

<学習内容>

同じレシピを2回作る時間を設け、1回目はグループで、2回目は一人で作る。学習のまとめとしてスライド作成をする。

国語 高1段階Bア
数学 中2段階
知Aア
家庭 中2段階Bウ
情報 高1段階
Aアイ(ア)
職業 中2段階Bイ

～旅行を楽しもう①～

<ねらい>

- ・自分の行ってみたい場所への旅行計画を立てる。(知・技)

<学習内容>

タブレット端末を活用し、自分の行ってみたい場所への移動手段や観光施設などについて調べる。旅行計画を作成する。

社会 高1段階イ
(ア)
家庭 高1段階A
ウ

～旅行を楽しもう②～

<ねらい>

- ・生徒自身が考えた旅行の計画を見合い、計画を立てる際に必要な事柄を考える。(知・技)
- ・外出する際に必要なこと、考えられるトラブルについて友達と意見を出し合い、解決策を考える。(思・判・表)
- ・時間や予算を踏まえて実現可能な旅行(校外学習)の計画を立てる。(学・人)

<学習内容>

タブレット端末を使用し、友達と出掛けたい場所や移動手段について調べたり計画通りに出掛けたりする。

国語 高1段階A
ウ
Bイ
社会 高1段階
イ(ア)
職業 中2段階
Bイ

～Dスタファッションを楽しもう～

<ねらい>

- ・インターネットや雑誌から情報を集める。(知・技)
- ・聞きたいことをまとめて、講師の方に質問する。(思・判・表)
- ・自分の好きな服装やTPOに合わせた服装を知り、選ぶ。(学・人)
- ・友達と意見を出し合いながらファッションショーの脚本を考え、役割分担をしてショーを開催する。(学・人)

<学習内容>

流行のファッションや場に応じたファッションについて調べたり実際に服を試着したりする。友達と意見を出し合いながらファッションショーを開催する。

国語 高1段階
知ア(イ)、(カ)、
Aウ
家庭 高1段階
Bウ
職業 高1段階
Bイ